

★かがやき読み聞かせ★

もみじ読書週間の一環として、11月22日(木)の朝の集会で、かがやき読み聞かせ交流会を行いました。本を通しての子供同士の関わりは何とも微笑ましく、体育館・軽体操場が穏やかな優しい空気に包まれました。今年で6回目となりましたが、これからも大切に継承していきたい落五小のかがやき班活動の一つだと感じました。

5,6年生の準備も周到です。一人一人が、自分の担当する下学年の子の学年や興味を考えて本を選び、読む練習を重ねます。単にすらすら読むだけではなく、自分の好きな言葉や伝えたい内容を見つけ、それが相手に届くような読み方や見せ方を工夫して臨みました。



5年生は聞く側から初めて読む側となり、緊張しながらも心を込めて読んでいました。いよいよ自分たちがかがやき班のリーダーになっていくのだという自覚が芽生えたようにも見えました。6年生はさすがに下学年の世話も手慣れており、聞き手の気付きや思いを受け止めながら上手に読んでいました。「下学年の子が集中して聞いてくれて嬉



しかった」「楽しんで聞いてくれたので、こちらでも楽しめた」などの感想が聞かれました。ぜひ家でも、本を媒介にした「ほんわかふれあい」を楽しんでみてください。

★副籍交流★

副籍交流とは、特別支援学校在籍の児童・生徒が居住地の小・中学校に副次的な籍をもち、交流を通じて居住地とのつながりの維持・継続を図ることを目的とした制度です。



本校には、新宿養護学校・中野特別支援学校の2校から、どちらも2年生の女の子が交流に来てくれています。お楽しみ会をしてレクリエーションを楽しん

だり、国語や音楽などの学習を一緒に取り組んだりするなどの交流を行っています。交流も2年目に入っていますが、2年生の児童もお友達が交流に来てくれることを楽しみに準備をしている姿が見られます。二人とも笑顔のとっても可愛い女の子で、交流に来てくれると自然と落五の2年生たちにも笑顔が溢れ、心温まる時間を過ごしています。



★ふれあい月間の取り組み★

新宿区では、子供同士の友人関係や日頃からの教員の指導の在り方を見直す機会として6月、11月、2月を「ふれあい月間」と位置付け、人権教育や心の教育等を推進するとともに、いじめ、不登校、暴力行為等の問題行動及び教員の指導の状況について、現状や取り組みの効果等を把握するための調査を行っています。

具体的には、各学級で「自分のこと」「友達のこと」「先生のこと」について、アンケート調査を実施しています。その中から気になること等があった時は、聞き取り調査も行い、早急に対処できるようにしています。

今後も、児童及び保護者の皆さまからご相談いただいた内容については、学校として責任をもって確認し、速やかに対処してまいります。保護者の皆様には、学校の取り組みにご理解いただきますようお願いいたします。

落五スクールライフ11月

●学芸会舞台裏 (6年)



6年生にとっては、小学校生活最後の学芸会でした。自分たちの出番だけでなく、他学年の演目の際も大道具や照明で活躍していました。保護者鑑賞日は、受付や入口でのさわやかな挨拶も印象的でした。

●家庭教育学級●



PTA主催の家庭教育学級の講演会で、ピアニスト沼田宏行先生をお招きし、ピアノの生演奏と音楽に関するやさしいトークを聞かせていただきました。心洗われる素敵な時間を過ごすことができました。

●昔遊びをしよう (1年) ●



地域の方に色々な昔遊び(けん玉、こま・ベーゴマ、お手玉、竹とんぼ)を教えていただきました。一緒に給食を食べたり、絵を描いたりしてたくさん交流しました。